7日間型（長時間）ホルター心電計のご案内

動悸や不整脈などの循環器疾患は、常に症状が出るわけではなく、多くは発作的に起こることが特徴です。
ホルター心電計を使えば、1日～7日間にわたる心拍の変動を連続で記録することが可能です。
たとえば、朝起きたときや仕事中、食後、入眠前後といった日常生活の中での心電図変化がすべて記録されるため、「検査中には症状が出なかった場合」の原因究明にも役立ちます。さらに、夜間の脈拍の乱れや自覚のない不整脈も発見できることがあり、心臓疾患の早期発見・早期治療につなげるうえで非常に効果的です。

なぜ長時間記録が必要なの？

発作性不整脈は、ストレスや疲労などの生活習慣の変化で、断続的に発生する場合があり、24時間記録と比較して、7日間記録では、検出率が向上すると報告されています。

心電計の特徴





検査費用について

3割負担の患者さんの場合、検査部分の自己負担額は約6,150円です（このほかに診察料などが別途かかります）。

笹下みずかみクリニック
〒234-0052
横浜市港南区笹下3-11-14　クリニックビル
045－842－6701
https://www.sasage-mizukami-cl.com